

東京 2020D&I アクション

-誰もが生きやすい社会を目指して-

東京 2020 大会は、その大会ビジョン「スポーツには世界と未来を変える力がある。」の基本コンセプトとして「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を掲げています。「東京 2020D&I アクション -誰もが生きやすい社会を目指して-」も、これらの考えに基づいています。

新型コロナウイルス感染症による新たな差別や格差の拡大といった社会の分断が深まる中、大会に参加する多様な個性がある多くの人々が、自分らしさを発揮して、違いを認め合い、違いを活かしながら協力することのすばらしさを改めて認識する場が、東京 2020 大会です。

私たち一人ひとりには、人種、肌の色、性別、性的指向、性自認、障がい、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別がなく、互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる共生社会を目指します。

東京 2020 大会を契機として、私たちの社会と未来に向けて何ができるかを考え、大会後も実践していくものとして、私たちのアクションを宣言します。

JSPO は、「スポーツの力で、社会を元気にする使命」を担っています

JSPO は、121 の加盟団体、全国の総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、公認スポーツ指導者をはじめ、スポーツを愛する人とともに、次のアクションを起こすことを宣言します

- ①私たちは、スポーツがあらゆる人々に一切の差別、格差なく享受され、誰もが望む社会の実現に貢献していくことを目指します
- ②私たちは、誰もが自分らしく、安全・安心にスポーツを楽しみ、喜びをわかち合える環境を創造します
- ③私たちは、常に最新の知識や技能を学び続け、スポーツの力を健全に活用できる担い手になります

2021 年 8 月 18 日

公益財団法人日本スポーツ協会

会長 伊藤雅俊